

平成29年度事業報告

自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日

1. 事業実施の概略

特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会は、全国に置けるデフバスケットボールの普及及び振興を図り、選手の育成とそのレベルアップを図るとともに、デフバスケットボールを通して、人類全体の健康増進と国際交流に寄与することを目的とし、次の特定非営利活動に関わる事業につき法人格取得前より実施してきた各事業の一部又は全部を、昨年度に引き続いて実施した。

2. 理事会等

役員改選

- 2017年度総会において役員改選を実施し、理事長として藤岡美鈴氏が新たに就任した。
- 理事会決議において理事増員。2017年12月31日現在 理事長1名、事務局長1名、理事8名、監事1名 役員計11名。

総会及び理事会実施

開催内容	開催日	開催地
2017年度定期総会	2017年3月25日	埼玉
第1回理事会	2017年1月22日	福岡
第2回理事会	2017年5月20日 - 21日	東京
第3回理事会	2017年11月12日	埼玉

その他

- JDBA会員向けメールマガジン
会員に直接情報を届けられるよう、2017年度よりJDBA会員向けのメールマガジンの配信を開始した。
- 団体会計システム移行
従来の会計システム「帳簿N-Books」から新会計システム「会計freee」へ移行し、業務効率化を図った。

3. 各事業報告

国際競技を含む競技会の開催及び運営に関する事業

区分	大会名	実施日	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	総額
交流事業	第15回埼玉ミニリーグ	H29.3.25-26	ウイング・ハット春日部	8名	全国のJDBA会員 その他	2,171,834円
競技事業	第6回東日本大会(予選)	H29.5.27-28	横浜ラポール	2名	全国のJDBA会員 その他	167,634円
	第6回西日本大会	H29.10.28-29	アミティ舞洲	5名	全国のJDBA会員 その他	110,770円
	第6回東日本大会(本戦)	H29.11.11	志木市民体育館	6名	全国のJDBA会員 その他	105,448円
	第4回理事長杯	H29.12.2-3	モリコロパーク	7名	全国のJDBA会員 その他	259,585円

■ 第15回全国デフバスケットボール大会（埼玉ミニリーグ）

- (目的) 全国のデフバスケットボール選手が技を競い、心身の鍛錬と連帯、協調の精神を養い、デフバスケットボールの健全な普及、発展を図り、ろう者自身の自立と積極的な社会参加を促進し、あわせてろう者スポーツに対する正しい理解を深めることとする。
- (事業内容) 加盟チームが男女別に競いあい、リーグ戦及びトーナメントを開催。
- (特記) 男子10、女子7チームが参加し、男子は誠Familyが二連覇、女子は京都DORAGON JOKER'Sの三連覇で幕を閉じた。実行委員会の尽力により約200万円の収入、綺麗に整った大会を実施、今後のミニリーグの手本となるよう資料やマニュアルを残した。

■ 第6回東日本大会

- (目的) ゲームを通して選手、審判、テーブルオフィシャル(以後、TOとする)などの技術を向上させることにより人材育成を図り、デフバスケットボールの普及、発展を図る。
- (事業内容) 参加チームで試合、TOを行った。
- (特記) 大会運営・方針で課題が出たため、次年度以降に向け競技委員会で協議することにした。

■ 第6回西日本大会

- (目的) ゲームを通して選手、審判、テーブルオフィシャル(以後、TOとする)などの技術を向上させることにより人材育成を図り、デフバスケットボールの普及、発展を図る。
- (事業内容) 参加チームで試合、TOを行った。
- (特記) 女子チームが不参加となり、課題が残された。また、大会運営・方針で課題が出たため、次年度以降に向け競技委員会で協議することにした。

■ 第4回理事長杯全日本デフバスケットボール選手権大会

- (目的) 東日本及び西日本の勝者チームによるNo.1のチームを決定するとともに、デフバスケットボールの普及・強化を図る。
- (事業内容) 参加チームによる男子トーナメント戦、女子総当たりリーグ戦。
- (特記) 各チームの技術向上に対する努力の姿勢がみられ、競技力の向上につながった。反面、各チームの参加人数が少なかったことや、大会の宣伝不足等運営体制での課題も浮き彫りになった。

競技者の強化育成に関する事業

U21デフバスケ世界選手権出場に向け、男女共に全国より21歳以下の選手を集め、トライアウトを兼ねた合宿を実施し、女子は1月に、男子は3月に代表選手を決定し公表した。そのほかに強化関連規程や文書の統一など、強化事業内の整理を行なっている中にある。

■ 男子強化事業

2017年度は組織体制移行に伴う、強化体制の整備のため活動中のスタッフ・選手と面談を実施し、デフリンピックに向けて結果を出すために4年かけての強化を目指し、2021年まで日本代表選手・スタッフとして活動してもらうことを理事会で決定した。

区分	事業内容	実施日	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数
国際	第1回 ユーラシア大陸デフスポーツ文化フェスティバル	H29.6.6 - 6.12	モンゴル	1名	強化指定選手及びスタッフ13名
強化合宿	第1回海外強化合宿	H29.2.4 - 2.10	アメリカ	0名	強化指定選手及びスタッフ9名
	第1回国内強化合宿	H29.4.29 - 4.30	神戸医療福祉大学	3名	強化指定選手及びスタッフ16名
	第2回国内強化合宿	H29.9.30 - 10.1	HOS 花園スタジアム	2名	強化指定選手及びスタッフ15名
	第3回国内強化合宿	H29.11.18 - 11.19	HOS 花園スタジアム	2名	強化指定選手及びスタッフ13名
強化体制整備	JPC団体向けアンチ・ドーピング研修	H29.7.9	味の素ナショナルトレーニングセンター	0名	スタッフ2名
	第1回強化会議(面談)	H29.8.28	和歌山	2名	スタッフ1名
	第2回強化会議(面談)	H29.9.2 - 9.3	東京	2名	強化指定選手5名
	第3回強化会議(面談)	H29.9.4	福岡	2名	強化指定選手1名
	第4回強化会議(面談)	H29.9.10	?	2名	強化指定選手4名

■ 女子強化事業

2017年5月に大賀玲子氏との面談を経て、2018年U21デフバスケ世界選手権日本代表監督として活動いただくことになった。

区分	事業内容	実施日	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数
強化合宿	第1回国内強化合宿	H29.6.24 - 6.25	京都市立花山中学校・光華女子学園	3名	強化指定選手及びスタッフ6名
	第2回国内強化合宿	H29.8.26 - 8.27	宇治田原町住民体育館・京都市立花山中学校	3名	強化指定選手及びスタッフ6名

区分	事業内容	実施日	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数
強化合宿	第3回国内強化合宿	H29.9.17 - 9.18	パナソニックアリーナ	2名	強化指定選手及びスタッフ10名
	第4回海外強化合宿	H29.10.14 - 10.15	筑紫中央高等学校・精華女子高等学校	2名	強化指定選手及びスタッフ7名
	第5回国内強化合宿	H29.11.25 - 11.26	パナソニックアリーナ	2名	強化指定選手及びスタッフ10名
	第6回国内強化合宿	H29.12.9 - 12.10	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター	2名	強化指定選手及びスタッフ10名
強化体制整備	JPC団体向けアンチ・ドーピング研修	H29.7.9	味の素ナショナルトレーニングセンター	0名	スタッフ2名
	第1回強化会議	H29.4.22-23	博多市民センター	3名	0名
	第2回強化会議	H29.5.13	オフィスワン四条烏丸	3名	スタッフ1名
	第3回強化会議	H29.7.28-30	福岡市立南市民センター	3名	スタッフ1名
	第4回強化会議	H29.9.9-10	春日クローバープラザ	3名	スタッフ1名

全国並びに国民に対する広報に関する事業

当協会の活動内容を国民へ広く伝えるために、Webサイト、他団体の機関紙などを通じて宣伝広報する。

■ 公式サイトのリニューアル

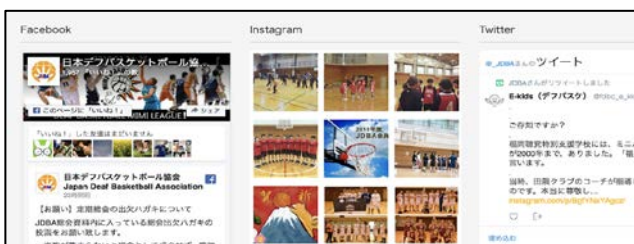
2017年秋よりサイトのリニューアルを行い、より見やすく改善した。
また、会員向けに各大会の写真をダウンロードできるようにアルバム機能を設置。

■ デフ日本代表公式サイト開設

デフ日本代表の活動について、発信力を高め情報をわかりやすく伝えるため、日本代表の公式サイトを別途に新設した。

■ SNS発信

FacebookやTwitter、Instagramにて定期的に情報発信を行った。



国際交流、地域への普及活動及び振興に関する事業

区分	大会名	実施日	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	総額
普及事業	第3回九州デフバスケットボールフェスティバル	H29.8.5	太宰府市総合体育館	3名	九州地区のJDBA会員 その他	87,104 円

■ 第3回九州デフバスケットボールフェスティバル

- (目的) 九州地域在住の聴覚障害者及び聴者を対象にバスケットボールを通しての交流を図る。
- (事業内容) 予選リーグ戦、上下位トーナメント戦形式の3on3大会。
- (特記) 計63名の参加者があり、未経験者にも気軽にバスケットボールを楽しんでもらえるイベントとなった。